

様式9

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ」

助成番号： 2024 - 6111 - 007

特定非営利活動法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク
理事長 山田 大志

2024 年度

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-007	清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ	特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク・理事長 山田大志
活動の目的		
<p>「清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ」をテーマに、資料館リバーパル五ヶ瀬川を拠点とし、子どもや保護者、流域住民に多様な体験活動などを行うことで、より川に関心や愛着を持ち、良好な河川環境保全や河川安全利用などについて、自ら考え行動できる次代の川の守り手を育成する。また、日常的な利用を促進することで、新しい水辺の楽しさや地域資源を掘り起こすことも目的とする。</p>		
事業テーマ	川づくり団体が行う社会教育的活動	
助成事業の要旨	【実施内容】	
	<p>活動名/対象者/実施方法/他団体支援内容/参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カヌーで水辺お掃除&干潟の生き物観察/市民/水上からのゴミ拾い2回、干潟の生き物観察/NPO法人ひむか感動体験ワールドカヌー指導/59名（5月3日26名,4日18名,5日15名） ●バードカービング&野鳥写真展/市民/野鳥彫刻及び写真の展示/さざんびあバードカービング教室 野鳥彫刻展示、日本野鳥の会宮崎県支部写真展示/469名（5月16日～6月17日） ●友内川野鳥観察会/市民/野鳥講話と観察会/日本野鳥の会宮崎県支部講話/34名（5月19日10名、2月16日24名） ●五ヶ瀬川水辺の宝石・川のいきもの展/市民/生き物の展示/宮崎大学水槽設置生体採取展示、NPO法人natureworks水生昆虫生体採取展示・外来種紙芝居/871名 ●東海さるく（河川文化・歴史伝承活動、水辺サイクリング、Eポート体験など）/市民/歴史探索ツアー及びサイクリング推進/地元自治会歴史探索ツアーガイド、ひむか感動体験ワールドEポート指導、0024 ODAKE River Project 運営補助/217名 ●年間を通したカヌー体験/子どもを含む団体/カヌー体験と川遊び指導を10回実施/NPO法人ひむか感動体験ワールドカヌー指導、九州医療科学大学1年生運営補助/168名 ●年間を通した干潟の生き物観察/子どもを含む団体/干潟の生き物観察と解説を12回実施/336名 	
	【成果】	
	<p>全体で2154名の参加があった。幅広い世代の方々を対象としたことで、多世代が川への関心を高め、愛着の心を育むことができたものと思われる。<u>自発的な河川清掃や除草も増えており、魅力的な水辺環境が保たれることも期待している。</u></p> <p>カヌー体験と干潟の生き物観察、野鳥観察会では実際に<u>自然豊かな河川環境を体感</u>することで、川への関心を高め、ふるさとの川やそこに棲む生き物への<u>愛着の心を育む</u>ことができたのではないかと考える。また、ライフジャケットの正しい着用方法についてレクチャーすることで、<u>安全な川遊び</u>推進につながったものと考えている。</p> <p>「バードカービング&野鳥写真展」は民放、NHK、ケーブルテレビでの放送、新聞2社の掲載もあり、期間中多くの方が見学に訪れた。また、「五ヶ瀬川水辺の宝石・川のいきもの展」は夏休みの開催であったため、沢山の親子連れが見学に訪れた。平日には<u>保育園、児童クラブ、障害児童施設</u>などの見学があった。これらの展示を通して<u>多様な方</u>に自然豊かで生物多様性に富んだ河川環境を知ってもらうことができた。</p> <p>東海さるく（河川文化・歴史伝承活動）では、地域の方々が河川文化や歴史について知る機会となり、それらを<u>次代へ伝えつなげていく一歩</u>となったと考えている。</p>	
【今後の展望】		
<p>良好な河川環境の持続的な保全等のために、水辺での憩いや賑わいを創出していく。流域住民が川への関心を高めていくことで、川や川に棲む生き物たちへの思いやりや愛着を持つ次世代の人材育成につなげていく。</p>		

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-007	清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ	特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク・理事長 山田大志
助 征 琴 行 見 氏 征 科 の 時 己 票 値	<p>【当初目標の達成度】</p>	
	<p>年間を通し多様な内容としたことで多世代に多様な水辺の楽しみを提供できた。参加も2,154名あり、川への関心を高めることができたのではないかと考えている。また、これらを通して河川愛護意識の醸成にもつながったと考えているが、魅力的な川づくり推進については、取り組みを継続することで、より自発的な河川愛護活動等が実現するものと考えている。</p>	
	<p>活動を通して本物の自然に触れ合うことで、子ども達のふるさとの川への愛着の心を育み、次世代の川の守り手の育成につながったと考えている。</p>	
	<p>ライフジャケットの正しい着用方法など安全な川遊びについて知ってもらうことで水難事故を未然に防ぐ一役が担えたものと考えているが、ライフジャケットの購入者である保護者等に対して広く啓発していく必要性を感じた。</p>	
<p>【活動の創意工夫点】</p>		
<p>参加制限は設けなかったが、幅広い世代に活動に参加してもらうため、イベント毎に対象者を絞って企画した。また、河川愛護意識や川への愛着心を高めるために導入を大事にして、五ヶ瀬川の河川環境やそこに棲む生き物たちについて説明を行った。</p>		
<p>活動のPRにはチラシ配布、報道機関への周知、SNSを使用した。参加制限を設けてなく、小学生や幼児向けの活動は、延岡市教育委員会や子ども保育課の協力により全児童へチラシ配布を行った。記者クラブを通して報道機関各社に投げ込みを行うことで、広く活動の告知や周知につながった。当団体のインスタグラムで告知やレポートを行うことで、子育て世代などの参加が多かったと思われる。</p>		
<p>運営スタッフの確保として、九州医療科学大学薬学部動物生命薬科学科の先生方と事前打合せを行い、1年生22名にフィールドワークとしてスタッフ参加してもらった。複数回参加する学生もおり、事前に活動目的や安全管理等について大学で講義を行ったことが、積極的な参加につながったものと考えている。</p>		
<p>活動資金調達のために、一部の活動については参加費を徴収した。また、市民から商品の寄付を募りチャリティーバザーを行った。</p>		
<p>【地域や河川管理者との連携】</p>		
<p>今回の活動は幅広い内容であったため、多くの団体等に企画運営等に協力いただいた。</p>		
<p>専門的な知識や経験を持つ団体や、地域の歴史等について熟知する地域住民に協力していただいたことで、活動内容が充実したものになった。河川管理者である延岡河川国道事務所からは機材の貸出しや企画内容についての助言、情報提供いただいたことで、目的に沿った効果的な内容で実施することができた。また、一部活動で延岡市の協力により、全児童へのチラシ配布を行ったことで多くの参加者があったといえる。</p>		
<p>【今後の展望】</p>		
<p>今回の活動を通して、河川環境保全や川の安全利用などについて地域や保育施設などから期待感が増していることから、持続的な活動の継続が必要だと感じている。活動を通して様々な団体との良好な関係性が構築されたことはとても有益であった。人材の確保は継続的な活動にとって最も重要であると考えているが、短期的には関係団体の協力を得て活動を継続していき、中長期的には活動を通して育った人材が活躍できる仕組みを作っていきたい。活動の発展により実績を積み、地域や行政などからの信頼を増すことで、業務委託受託などにつなげて財務基盤を強化していきたいと考えている。</p>		

1. 活動の目的

「清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ」をテーマに、資料館リバーパル五ヶ瀬川を拠点とし、子どもや保護者、流域住民に多様な体験活動などを行うことで、より川に関心や愛着を持ち、良好な河川環境保全や河川安全利用などについて、自ら考え行動できる次代の川の守り手を育成する。また、日常的な利用を促進することで、新しい水辺の楽しさや地域資源を掘り起こすことも目的とする。

2. 活動の内容

2. 1 カヌーで水辺お掃除 & 干潟の生き物観察の開催

2024年5月3日、4日にカヌーで水辺お掃除、5日に干潟の生き物観察を開催した。

2. 1. 1 参加者募集

(1) チラシの配布

近隣の小学校4校、保育園へ案内チラシ1000枚を配布した。

ゴールデンウィーク
カヌーで水辺お掃除
& 干潟の生き物観察

RIVERPAL GOKASEGAWA
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

近隣の小学校4校、保育園へ案内チラシ1000枚を配布した。

カヌーで水辺お掃除
日時 | 令和6年5月3日(水) / 4日(木)
10:00~12:00(受付9:45) ※少人数で行 全額お持ち帰り
会場 / リバーパル五ヶ瀬川 ※参加費 1,500円
対象 / 小学生以上(幼児はお問合せ下さい)
定員 / 各20名 ※申込多数の際は抽選

干潟の生き物観察
日時 | 令和6年5月5日(金)
10:00~12:00(受付9:45) ※少人数で行 各新お持ち帰り
会場 / リバーパル五ヶ瀬川 ※参加費 100円
対象 / どなたでもご参加いただけます
定員 / 20名 ※申込多数の際は抽選

河川基金 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。

主権 / NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク 福岡市牧野区資料館「リバーパル五ヶ瀬川」内
お問合せ / TEL 0982-42-3095 Mail info@gokasegawa.net

写真 2.1 募集チラシ

(2) ホームページ及びInstagramの掲載

ホームページとInstagramに募集掲載した。

(3) 参加人数

申込みは4月27日(土)までのWEB申込とした。

各回定員20名に対し、3日26名、4日18名、5日15名の参加があった。

2. 1. 2 各回の活動写真

(1) 5月3日カヌーで水辺お掃除



写真 2.2 活動の様子



写真 2.3 活動の様子

(2) 5月4日カヌーで水辺お掃除



写真 2.4 活動の様子



写真 2.5 活動の様子

(3) 5月5日干潟の生き物観察



写真 2.6 活動の様子



写真 2.7 活動の様子

2. 2 バードカービング&野鳥写真展の開催

バードウィークに合わせて5月16日から6月17日に開催した。さざんびあバードカービング教室と日本野鳥の会宮崎県支部の協力。

2. 2. 1 見学者募集

(1) チラシの作成及び記者クラブ投げ込み

記者クラブ（13社）へ投げ込みを行い、NHK 宮崎放送局、MRT 宮崎放送、ケーブルメディアワイワイの放送、毎日新聞、夕刊デイリーへの掲載があった。



Exhibition
バードカービング展
野鳥写真展

河川基金 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。

2024.5.16 | 9:30
- 6.17 | 16:30

CLOSED 5/21,28 6/4,11

リバーパル五ヶ瀬川

入場無料

今年もバードウィークに合わせて、さざんびあバードカービング教室講師佐藤浩榮さんと受講者の皆様による作品、日本野鳥の会宮崎県支部の皆様による野鳥写真を展示いたします。

写真 2.8 案内チラシ

(2) ホームページの掲載

ホームページに展示情報を掲載した。

(3) 見学者数

大人324名、子ども145名、計469名の見学があった。

2. 2. 2 展示活動

カービング54種112点及び写真31点の展示。



写真 2.9 見学の様子



写真 2.10 見学の様子

2. 3 友内川野鳥観察会の開催

バードウィークに合わせて5月19日、渡り鳥が多い2月16日の計2回開催した。

2. 3. 1 参加者募集

(1) チラシの配布及びホームページへの掲載

5月開催分はホームページ掲載と記者クラブ投げ込みを行った。5月開催の参加者が少なかったため、2月開催分については近隣の小学校(312名)など400枚配布した。

写真 2.11 募集チラシ

写真 2.12 募集チラシ

(2) 参加人数

各回定員25名に対し、5月は10名、2月は24名の参加があった。

2. 3. 2 各回の活動写真

(1) 5月19日初夏の野鳥観察会（観察数23種）



写真 2.13 観察会の様子



写真 2.14 観察会の様子

(2) 2月16日冬の野鳥観察会（観察数34種）



写真 2.15 観察会の様子



写真 2.16 観察会の様子



写真 2.17 観察会の様子



写真 2.18 観察会の様子

2. 4 五ヶ瀬川水辺の宝石・川のいきもの展の開催

夏休み期間中の8月3日から8日（6日休館）の5日間魚類、甲殻類、水生昆虫の展示五ヶ瀬川水辺の宝石・川のいきもの展を開催した。

2. 4. 1 見学者募集

(1) チラシの配布

市内小学校（6200枚）、市内保育施設（4320枚）など12000枚を配布した。

五ヶ瀬川
水辺の宝石
川のいきもの展

開催期間 令和6年
8/3(土) ▶ 8/8(木)
9時30分～16時30分
★8月6日(火) 休館

場所 資料館「リバーバル五ヶ瀬川」
延岡市牧町

観覧 無料 ★混雑が予想されます。団体でのご利用を希望される際は、お問合せ下さい。

主催 特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク

協力 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター

お問合せ先：**NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク**
〒882-0023 宮崎県延岡市牧町資料館「リバーバル五ヶ瀬川」内
電話：0982-42-3005 メール：info@gokasegawa.net
ホームページ：https://www.gokasegawa.net/

河川基金 公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

五ヶ瀬川の生き物を中心に、宮崎の豊かな自然の中で得た川の生き物展を開催します。キラキラと光る宝石のような魚など、身近な生き物をじっくり観察してみましよう！
夏休みの絵画制作や自由研究にも役立つかも！？

写真 2.19 募集チラシ

(2) ホームページ及びInstagramの掲載

ホームページとInstagramに募集掲載した。

(3) 見学者数

大人334名、子ども537名、計871名の見学があった。

2. 4. 2 展示活動写真



写真 2.20 設営の様子



写真 2.21 全体の様子



写真 2.22 全体の様子



写真 2.23 見学の様子



写真 2.24 魚図鑑なども展示



写真 2.25 魚やカニなどの絵を描く様子



写真 2.26 水生昆虫の見学



写真 2.27 外来種展示の見学



写真 2.28 カニのタッチプール



写真 2.29 カニのタッチプール



写真 2.30 外来種絵本の読み聞かせ



写真 2.31 お魚かるたで遊ぶ見学者



写真 2.32 子ども達書いた絵

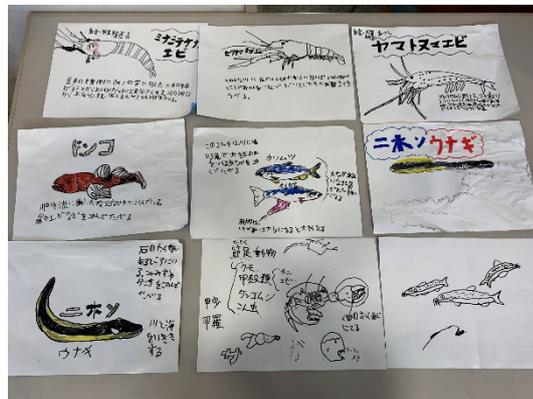


写真 2.33 子ども達書いた絵

2. 5 東海さるくの開催

11月9日に舟運が栄えた名残を残す町の歴史散策ツアーを開催した。また、水辺のまちなりのホームページ作成及び各史跡のパネル作成、水辺サイクリング活動などを行った。

2. 5. 1 参加者募集

(1) チラシの配布

市内小学校（6200枚）、市内保育施設（4320枚）など12000枚を配布した。

東海さるく

11/9 土
日時 9:00～15:00
会場 リバーバル五ヶ瀬川とその周辺

歴史文化
水辺のまち歴史探索ツアー
大武コース 9時 先着各10名程度
ニツ島コース 13時 先着各10名程度
お茶会（藤原社中）
大人の方一服 100円、子ども無料 和菓子つき
なくなり次第終了します。

自然体験
Eボート 10時、12時 先着各回9名 1,000円
マウンテンバイクで水辺サイクリング
11時、14時 各回5名程度(各回大人は3名まで)200円
※対象：小学3年生以上、子どもはマイ自転車持参
子ども用マウンテンバイク貸出あり

ワークショップ
スーパーボールロケットづくり 無料
貝殻標本づくり など 100円

物産店
地域のみなさんによる出店

主催：NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク
協賛：一般社団法人 有田・井上文化財団
〒882-0023 宮崎県延岡市牧町資料館「リバーバル五ヶ瀬川」内
電話：0982-42-3005 メール：info@gokasegawa.net
ホームページ：https://www.gokasegawa.net/

河川基金 公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

写真 2.34 募集チラシ

(2) ホームページ及びインスタグラムの掲載

ホームページとインスタグラムに募集掲載した。

(3) 参加者数

大人86名、子ども97名、計183名の参加があった。

2. 5. 2 活動写真



写真 2. 35 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 36 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 37 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 38 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 39 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 40 歴史散策ツアーの様子



写真 2. 41 水辺サイクリング



写真 2. 42 E ボート



写真 2.43 工作コーナー



写真 2.44 昔と今の写真展



写真 2.45 キッチンカー



写真 2.46 ミズベライブラリー

2. 5. 3 水辺のまちホームページ作成及び掲示パネル作成

<https://info1992061.wixsite.com/mizube>

2. 5. 4 ホームページの構成

(1) ホーム



(2) ストーリー



水と共に...

...with water.

東海東地区の大武は江戸時代から町として栄えていた古地図にも須宮村、岡宮村に対して大武町と表記してある上方に炭や材木を運ぶ港町として栄えていたからで、千石船を持つ家も沢山あり、昔は静福丸や権衛丸と屋号で呼び合っていた
この地域は水に囲まれているところが多い
水は人々に潤いをあたえ環境を豊かにする
舟運が途絶えて久しく、水を活かす文化が活えつつあるが水辺の散策やコーナーで水辺に親しむ人も多くなってきた
新たな水との付き合い方が生まれているのかもしれない

2. 5 年間を通じたカヌー体験の実施

五ヶ瀬川支流友内川で10回カヌー体験を行い、168名の参加があった。台風の影響により1回は中止となった。

2. 5. 1 実施日／団体名／参加人数／活動写真

(1) 6月1日／こすもす保育園／20名



(2) 7月13日／ボーイスカウト／27名



(3) 7月14日／恒富小学校家庭教育学級／20名



(4) 8月7日／第3東海東児童クラブ／16名



(5) 8月22日／こばと児童クラブ／17名



(6) 8月23日／こばと児童クラブ／16名



(7) 8月25日／方財まちづくり協議会／16名



(8) 9月7日／延岡小学校家庭教育学級／14名



(9) 9月8日／ガールスカウト／8名



(10) 10月12日／かどっこキャンパス／14名

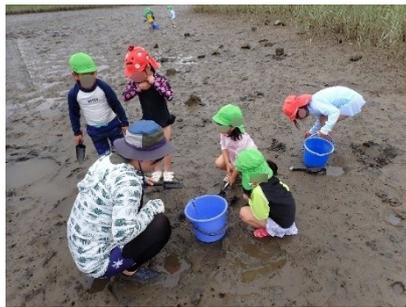


2. 6 年間を通した干潟の生き物観察の実施

五ヶ瀬川支流北川干潟で11回生き物観察を行い、324名の参加があった。台風の影響により1回は中止となった。

2. 6. 1 実施日／団体名／参加人数／活動写真

(1) 6月6日／つのだ保育園／21名



(2) 6月19日／東幼稚園／83名



(3) 7月3日／東海幼稚園／42名



(4) 7月19日／方財保育園／22名



(5) 8月5日／こばと児童クラブ／39名



(6) 8月17日／方財まちづくり協議会／9名



(7) 8月19日／童夢館児童クラブ／26名 ※雨天のため室内で観察



(8) 8月19日／第3東海東児童クラブ／20名 ※雨天のため室内で観察



(9) 8月21日／童夢館児童クラブ／21名



(10) 8月22日／旭児童クラブ／26名



(11) 9月20日／なかしま児童館／15名



3. スタッフ、運営組織

3. 1 協力団体

NPO 法人ひむか感動体験ワールド、さざんびあバードカービング教室、日本野鳥の会宮崎県支部、宮崎大学農学部延岡フィールド、NPO 法人 natureworks、地元自治会、0024 ODAKE River Project、九州医療科学大学のご協力をいただいた。

3. 2 行政の協力

国土交通省延岡河川国道事務所より資機材の貸出しや助言、延岡市教育委員会よりチラシ配布のご協力をいただいた。

3. 3 大学生ボランティア

九州医療科学大学薬学部動物生命薬科学科1年生22名が、夏休み期間中のカヌーを中心に子ども達の見守りなど運営補助のご協力をいただいた。

4. 活動の成果

4. 1 川への関心の高まりや川への愛着の心の醸成

参加者及び見学者は合計で2154名であった。多様な内容だったことで幼児から高齢者まで幅広い年齢層の参加や見学があった。五ヶ瀬川の自然豊かで生物多様性に富んだ河川環境を広く周知することができた。活動を通して川への関心を高めるとともに、ふるさとの川への愛着の心を育むことができたのではないかと考えている。

4. 2 河川愛護意識の向上及び次世代の川の守り手の育成

参加者はカヌーを使用した清掃活動を通して、ゴミの多さ、またプラスチック類の多さを目の当たりにした。活動を通して河川環境の豊かさを知り、それを持続的に守るために自分たちがどう行動するのか考えるきっかけになったように思う。活動でも楽しみながら一生懸命にゴミを集める様子を見ることができた。前述した通り、大学生のボランティアも受け入れたことにより、中間世代の川の守り手育成にもつながっていると思う。

4. 3 安全な川遊びの推進

活動にあたっては、正しいライフジャケットの使用方法について毎回レクチャーした。親子や川で活動する保育園等からライフジャケットレンタルの依頼も増えており、安全な川遊びの推進に寄与できたものと考えている。

4. 4 水辺の賑わいの創出

様々な水辺の楽しみ方を知っていただく機会になった。水辺に賑わいが生まれることで、流域住民が利用しやすい水辺、景観への配慮など市民の声を今後の河川整備に活かすことができると思われる。

4. 5 河川文化の伝承

河川文化歴史伝承活動を通して、地域の方々があらためて、舟運として栄えた東海東地域の水辺の町ならではの歴史や川文化を知る機会となった。それらを次代へ伝えつなげていく一歩になったと考えている。

5. 今後の展望

良好な河川環境の持続的な保全等のために、水辺での憩いと賑わいを創出していく。これまで川に関わりがなかった人を巻き込むために内容など工夫して取り組んでいく。

参加者（流域住民）が川への関心を高めていくことで、川や川に棲む生き物たちへの思いやりや愛着を持った次世代の川の守り手の育成につなげていく。

水難事故を未然に防ぐために、安全で楽しい川遊びを推進していく。特に、ライフジャケットの購入者である保護者への啓発を推進したい。

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2024-6111-007	清流五ヶ瀬川を次代へつなぐ	特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク・理事長 山田大志
	主な実施箇所	五ヶ瀬川水系北川及び友内川

助成事業の主な実施箇所



河川基金ロゴ等表示状況写真

遠景	近景